



大好きなハイキューブを小山さんにねだるアースライジング



## 小島友実の あの馬の STORY

### アースライジング

バーニーファームと和田正道調教師の、海外トレーラークセール出身馬黄金タッグ、ファンの会員の皆様！ アースウンド（オーバルスアーチスト1着）、アースゼウス（兵庫ジコ）アグリシングプリ4着）、アースコネクター（北海道2歳優駿2着）に続く、アース軍団、の3歳馬、アースワイヤリングがついに、3月22日の中山ダート戦でデビューしました。結果は残念ながらの13着でした。が、騎乗した内田博幸騎手はレース後、「力はある馬です」と何度も言ひて、懇親したから、悲觀する内容ではなくかったと思います。

昨年のバレンターナセール出身のアースライジング。セール直後に「走り、体型、歩く姿など、厳しい視点から見ても合格馬が与えられ、セールで一番目に入ったのがこの馬でした」と和田師が語っていた期待馬です。

しかし昨年、入厩してからの調整がなかなか順調に進みませんでした。和田師は「振つ返つまわ。

「8回のデビュー予定でしたら気持ちが走る方へ向いておせらでしたね。それでデビューを遅らせたんです。その後、10回5回の新潟戦でデビュー出来たが、度は脚元に疲れが出てしまってましたね。それで放牧に出しました」

の海外トレーラークセール出身馬黄金タッグ、ファンの会員の皆様！ アースウンド（オーバルスアーチスト1着）、アースゼウス（兵庫ジコ）アグリシングプリ4着）、アースコネクター（北海道2歳優駿2着）に続く、アース軍団、の3歳馬、アースワイヤリングがついに、3月22日の中山ダート戦でデビューしました。結果は残念ながらの13着でした。が、騎乗した内田博幸騎手はレース後、「力はある馬です」と何度も言ひて、懇親したから、悲觀する内容ではなくかったと思います。

昨年のバレンターナセール出身のアースライジング。セール直後に「走り、体型、歩く姿など、厳しい視点から見ても合格馬が与えられ、セールで一番目に入ったのがこの馬でした」と和田師が語っていた期待馬です。

しかし昨年、入厩してからの調整がなかなか順調に進みませんでした。和田師は「振つ返つまわ。

「8回のデビュー予定でしたら気持ちが走る方へ向いておせらでしたね。それでデビューを遅らせたんです。その後、10回5回の新潟戦でデビュー出来たが、度は脚元に疲れが出てしまってましたね。それで放牧に出しました」

休養を挟み、今年2月中旬に帰厩。調教を行つて少し聞き、3月11日、和田厩舎を訪ねました。

「去年より成長して戻つてきましたよ。坂路の調教でも古馬のアースワイヤリングと互角に動けています。1000万クラスの馬は互角に走れる新馬はいつの厩舎でやめられないませんからね。去年の夏頃は最後の踏ん張りがきかなかったのですが、今は終いもしない走れています」

実は私はアースワイヤリングに出資させて頂いております（笑）。アーチストの愛馬に会つて馬房へ行き、昨年夏も担当してつたといふ小山貴洋持ち乗り調教助手に話を伺いました。

「牧場スタッフの皆さん方がかなりとど対処してくれたおかげで脚元がバツキリした状態で帰厩しました。でもかの私が再発しないよう、しっかりとケアをしています。乗つた感触も去年とは変わらないました。前はハリを取つたり取らなかつたりでしたが、今は追つ切つ時にきちんとハリを取つて走つてもらっています。特に坂路で走る時、脚元を上手に使いハリを感じてもらおうね。センスがあるあります。飼葉も残さず食べます」

和田調教師もこの語つてましたから、巻き返しに期待しています。

「デビュー戦で最後方に下がった時はじやつてしまつたが直線では諦めずに盛り返したのにすかんやはう能力がある馬なのだと私も思つます。あとはやつぱり気持ちの問題なのがな。今後のアースワイヤリングを私も会員の皆様と共に応援してもらいたいと思います。

タイプで、馬房に僕が入つておらず、わざわざお手を出つてくね」だといひます。いつもええば、馬房での写真撮影時は必ずヒトカヌ「お風呂」して、なかなか撮れなかつたなる（笑）。

そんないアースワイヤリング。この取材の後、冒頭でも書いた通り3月22日の中山ダート1800メートル戦でデビューしましたが、13着。和田師によると、「馬の優しい面が出てしまって、他馬に寄り付たり立ててしまつたもの」との事。

内田騎手も「砂を被つた位置で競馬が出来れば一変出来ただろう。力はあります」と話していました。

「トウマー戦は内枠も限くなつただけですね。素質と馬体の良さはある馬です。この後は厩舎で調整してレースに出走される予定です。私も、アースの看板を背負わせて頂いていますからね。まだ勝たせねば、次もしっかり仕上げます」

#### profile

グリーンチャンネル「ブラックマンTV」（毎週金曜19:00～20:30）、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。